

漁海況情報第2報 (2023年5月19日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

北上暖水の波及により、沿岸域の表層および100m深水温は平年より極めて高めとなっています。

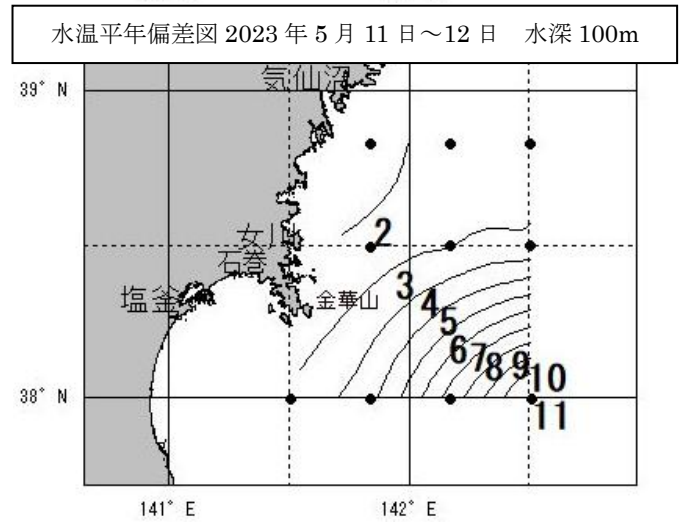
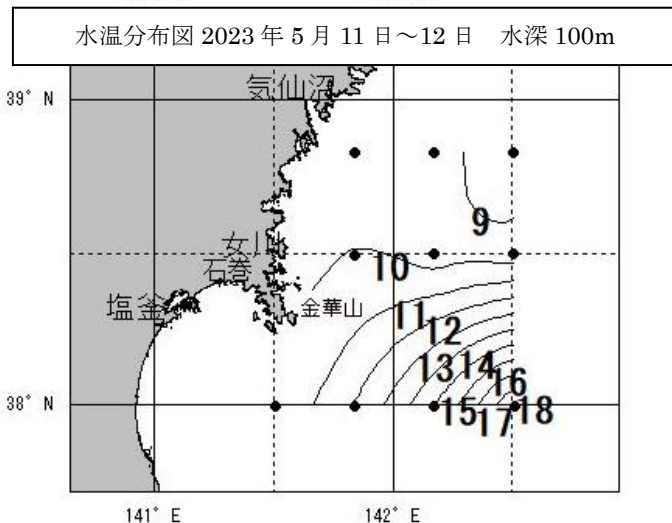
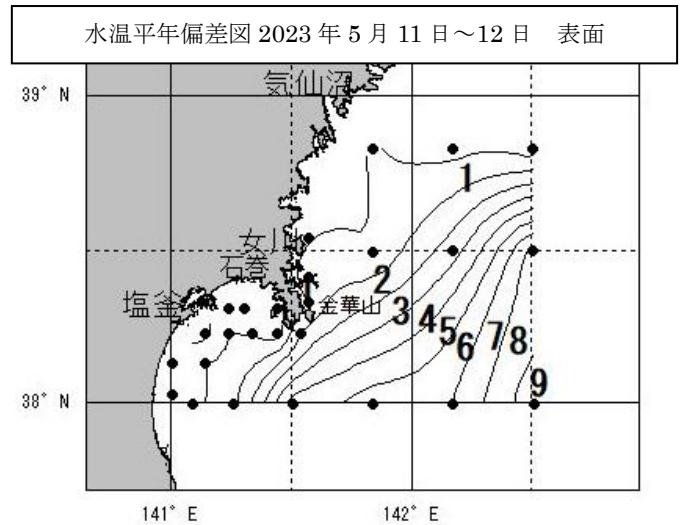
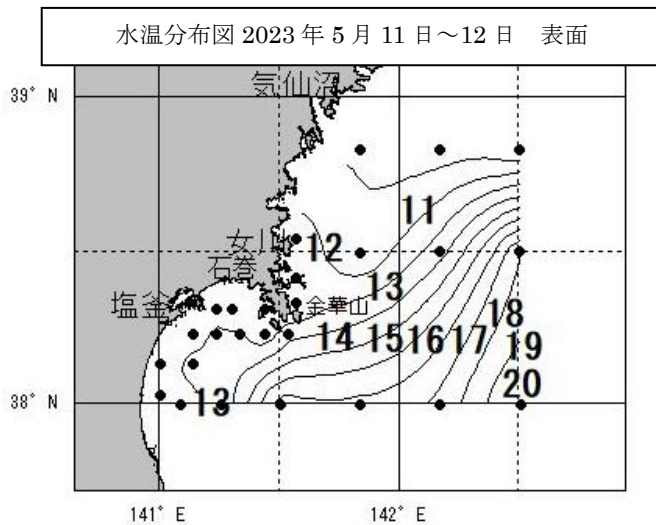
北編傾向にある黒潮続流からなる暖水波及の影響により、宮城県沿岸の表面水温および100m深水温で10～20℃台となっています。また、平年水温と比べ、表層および100m深水温で1～11℃高く、4月に続き38°N、142°E以東付近の表層で最大9℃、100m深水温では最大11℃高い傾向です。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。水温鉛直では、38°50'N、142°E以東の水深200m以深で親潮系冷水が差し込み、水温が低くなっているところがあります。[P2. 水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮系水域は、親潮第一分枝の先端が青森県尻屋崎沖で停滞。[P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

5月上旬の定地水温は12～16℃台で、気仙沼(杉の下)で極めて高め、亶理では平年並み、他の観測点ではやや高め～高めとなっています。なお、歌津についてはメンテナンス中のため、観測を停止しています [P3. 定地海洋観測図]。

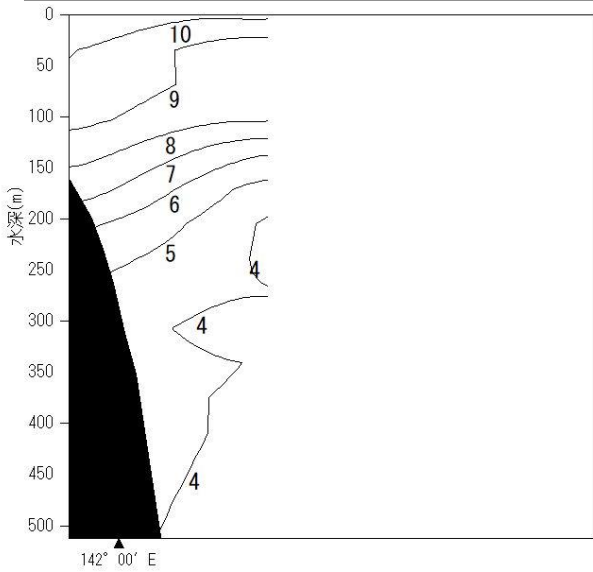
・水温水平分布図

・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

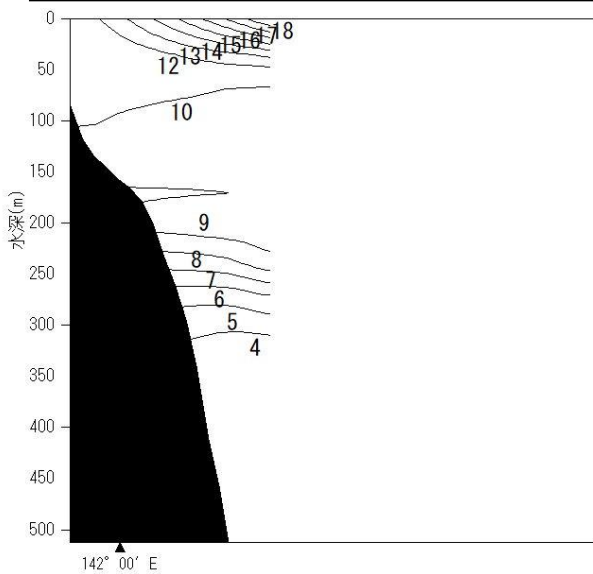


・水温鉛直断面図

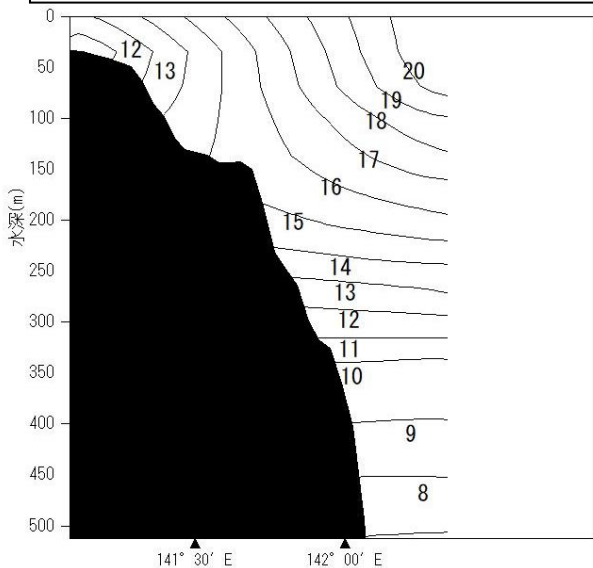
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

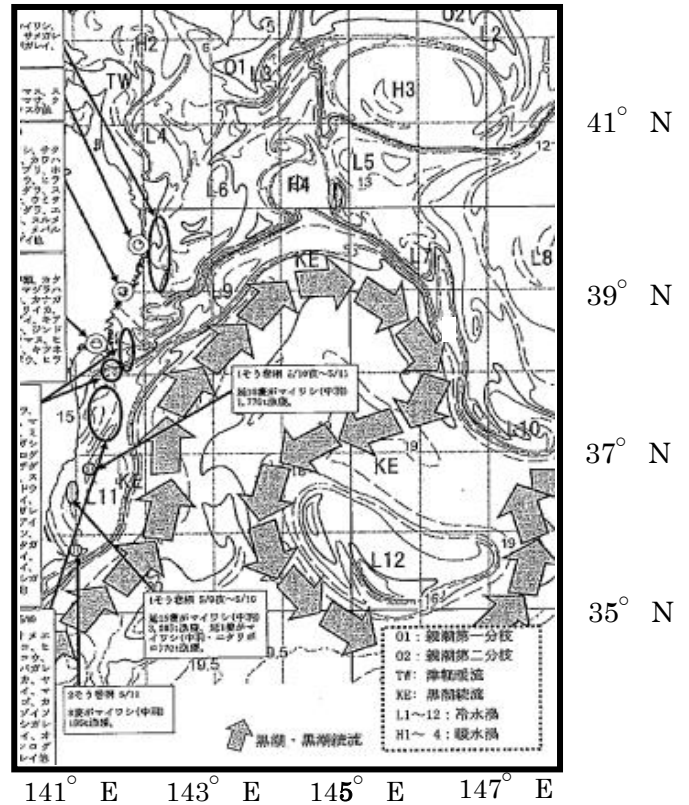


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2023年5月11日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

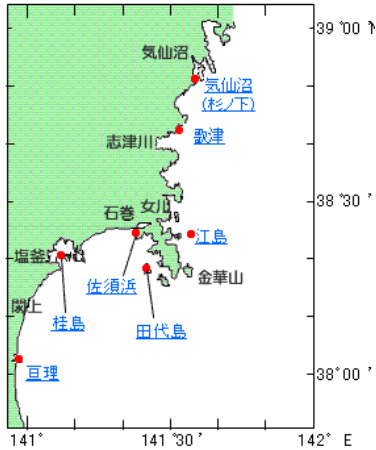
【海況】 (5月11日表面水温)

- ・親潮系水域は、親潮第一分枝の先端が青森県尻屋崎沖で停滞。沖合の東経147度付近にあった親潮第二分枝は、津軽海峡付近で停滞。
- ・津軽暖流は、下北半島～三陸北部沿岸を気仙沼沖まで南下。
- ・黒潮続流は、房総～日立・鹿島～常磐～三陸南部沖を北上し、沿岸側波及暖水が房総～牡鹿半島沿岸に分。黒潮続流は、岩手県山田沖まで北上し南東～西南西に流去。波及暖水(6°C台)の北端は、道東沖に達して、暖水渦を形成。

【漁況】 (5月9～5月11日)

- ・巻網：1 そう巻網は日立・鹿島沖海域、福島県沖海域で延16隻がマイワシ4,855t漁獲。2 そう巻網は日立・鹿島沖海域で8隻がマイワシ195t漁獲。
- ・定置網：石巻はマイワシ、サバ類、カタクチイワシ主体。大船渡はサバ類、マイワシ主体の水揚げ。
- ・カツオ竿釣：日本太平洋南部海域、伊豆諸島周辺海域、伊豆諸島周辺海域、日本太平洋中部海域で3日間操業の延46隻が138t漁獲。

・ 定地海洋観測



	5月上旬		平年差	前年差
気仙沼 (杉ノ下)	13.3	極めて高め	2.6	2.5
歌津	—	—	—	—
江島	11.5	やや高め	1.5	2.5
田代島	13.9	高め	2.0	2.4
佐須浜	14.3	やや高め	1.3	2.4
桂島	15.6	やや高め	0.8	1.9
巨理	14.3	平年並	0.5	0.9

※—：メンテナンス中

※平年値 = 過去30年

※佐須浜 (過去10年)

※歌津 (平成28年12月から観測再開)

※桂島 (平成24年3月から観測開始)

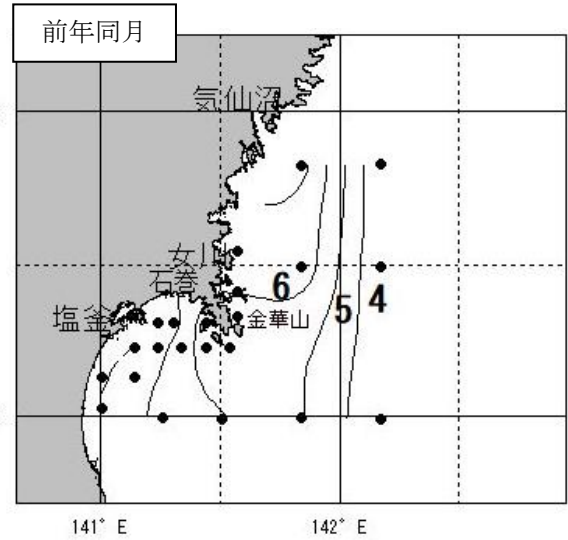
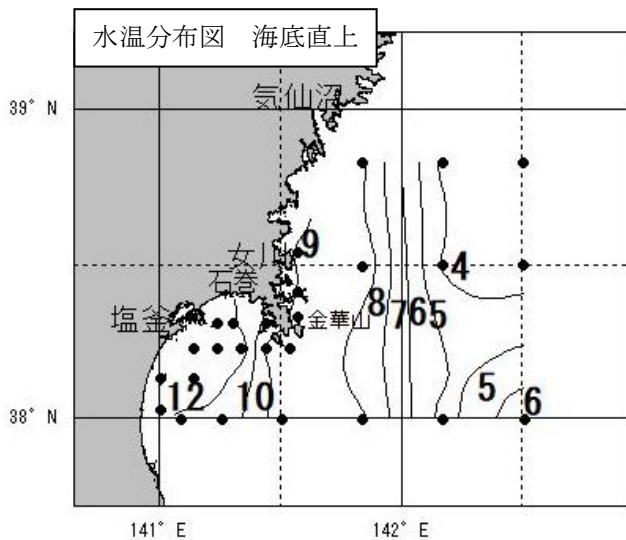
※巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・ 海底直上水温図

・ 海底直上水温(2023年5月11日～12日)

・ 海底直上水温(2022年4月25日～5月19日)

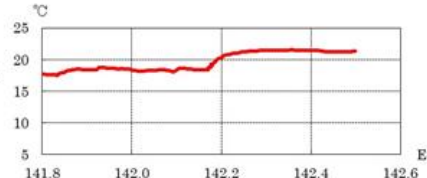
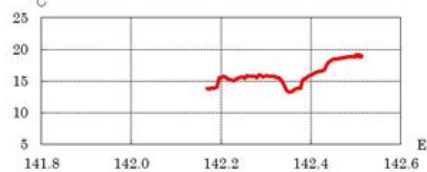
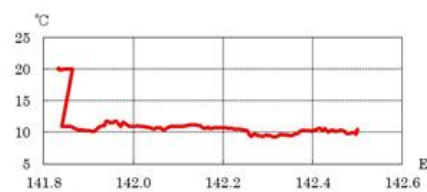
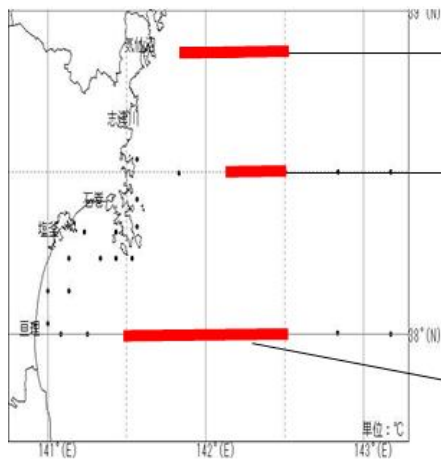


(※観測水深は500mまでです)

2. 表層水温情報

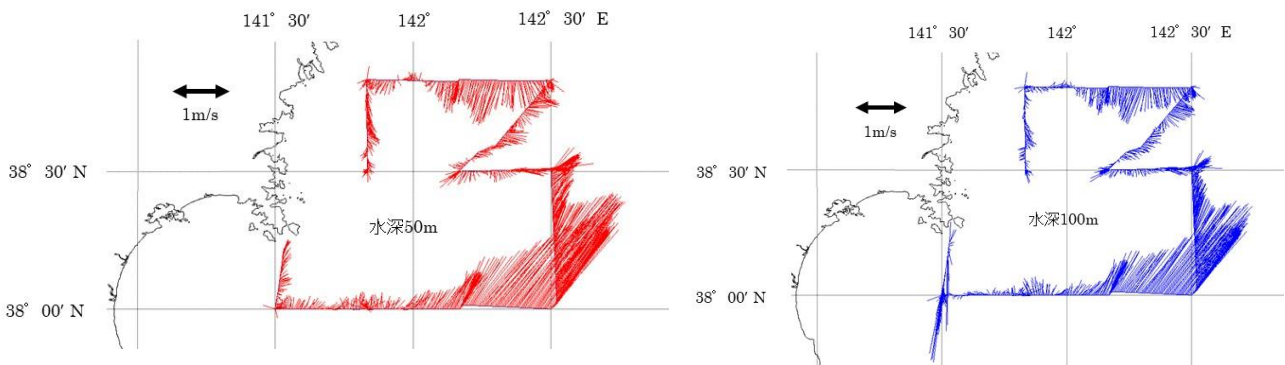
みやしおによる航走表面水温については、次のとおりです。

2023年5月11日～12日



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



4. 漁況

4月の水揚量は前年同月と比較して、ババガレイの水揚量が大幅に増加したほか、ビンナガ、メバチ、マダラなどが増加しています。一方、マガレイ、サメガレイ、スケトウダラ、キチジなどは減少しています。

(単位：トン)

2023年4月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ			1,564						163		1	165	184%
メバチ			0.021						44		0	44	122%
サバ類	245	3				93	0				9	349	71%
ヒラメ	2	2				0	2				2	8	88%
マコガレイ	0	2				0	2				2	6	103%
マガレイ	0	0				0	0				0	0	19%
サメガレイ	12	0				0	0				0	12	26%
ババガレイ	26	0				0	1				4	31	377%
ヤリイカ	1	1				3					0	5	118%
マイワシ	4,663	10				4,979	0				221	9,873	93%
マダラ	206	0				2	2				4	214	175%
スケトウダラ	452	1				2	0		0		1	456	21%
キチジ	11											11	11%

※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※0は1トン未満の水揚げを示す。